

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	旧庁舎管理事業	所管	財務部 管財課
			TEL 2998-9053

事業の目的 (何の為に 行うか)	使用団体(公共的団体)との調整など旧庁舎の管理運営を効率に行い、公共施設の効果的活用を図る。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	旧庁舎	対象とした数	1	施設
		実際に 利用した数	1	施設

活動の内容	(何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> ・財団法人所沢市公共施設管理公社に管理業務を委託する。 ・委託料の支払いは分割(4回)払いとしている。 ・業務終了後に清算を行っている。 							
活動実績	項目名	旧庁舎使用団体数	12	項目名	1団体あたりの経費	3789166	項目名		単位
		単位	団体			単位	円		単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	47,603	47,723	51,387	151.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	委託料の削減率	委託料14年度比	10	18.6	186.0
			単位	%	単位
			%	%	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []			
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止			
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了			

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	総合 評価	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了			
		拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課コード 020200 TEL 2998-9053
事業コード 020205	旧庁舎管理事業	
開始年度 昭和 63 年度 → 終了年度 平成 年度		グループ 庁舎管理担当

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令	
	分野別計画・指針				所沢市庁舎管理規則、所沢市庁舎防火管理規程、旧庁舎会議室等の管理運営要領	
	関連・類似事業					
	総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向け	施策	3節 行政運営	中柱
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 35 位 ・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 *** 行政改革大綱における行動計画への位置づけ コード 3111 市有財産の有効活用 コード 3241 施設の複合的利用促進 コード						
事業開始の背景		新庁舎が昭和61年に完成し、機能が移転したことに伴い旧庁舎を有効に活用する必要が生じた。 旧庁舎の維持管理及び運営にあたっては、公共施設の効果的活用の観点から公益法人による管理運営とした。				

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)					
	使用団体(公共的団体)との調整など旧庁舎の管理運営を効率に行い、公共施設の効果的活用を図る。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方		
	旧庁舎			旧庁舎		
対象数		平成 18 年度	1	施設	利用数	
		平成 19 年度	1	施設	単位	
		平成 18 年度	1	施設	平成 19 年度	
		平成 19 年度	1	施設	平成 19 年度	
事業の具体的な内容及び実施方法						
・財団法人所沢市公共施設管理公社に管理業務を委託する。 ・委託料の支払いは分割(4回)払いとしている。 ・業務終了後に清算を行っている。						

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 → (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
		<input type="checkbox"/> 終了 → (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
安全面を第一に考慮し、また緊急性も踏まえながら施設の修繕を行った ・空調機修繕 ・西側街灯交換 ・老朽化した国旗掲揚塔撤去 ・冷却塔修繕 ・3階ダクト修繕						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		54,892	47,603	47,299	
	決算(見込み含む)		52,864	47,723		
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費	0.35 人	3,220	0.39 人	3,664	
	公債費		9,200			
	事業費合計		65,284	51,387		
	財源内訳	一般財源		54,358	40,709	36,621
		国・県支出金				
		受益者負担金		10,926	10,678	10,678
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		193.2	151.6			
利用数一単位あたり(単位:円)		65,284,000.0	51,386,660.0			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	旧庁舎使用団体数	年間の使用団体数	団体	12	12		
		1団体あたりの経費	委託料/使用団体数	円	3,656,947	3,789,166		
	成果分析	委託料の削減率	委託料14年度比	目標値	10	10	10	
実績				12.5	18.6		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
			%	達成率	125.0	186.0		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題 躯体や設備の老朽化が進んでいることから、経年劣化によるもののほかに緊急性のある補修や修繕の必要が生じる可能性を踏まえつつ、施設の有効活用や経費の節減といった効率的運営を進める必要がある。 安全面を第一に考慮し、補修や修繕の緊急性や必要性を十分検討しながら、施設の機能を活用した維持管理を継続して行う必要がある。					
		今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定		躯体や設備の老朽化が進んでいることから、安全面を第一に考慮し、補修や修繕の緊急性や必要性を十分検討しながら、施設の維持管理を継続して行う。	改修内容を見極め次年度に必要な予算措置を講ずる。	今年度中	
平成21年度における事業の方向性					
総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 → (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 → (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)					
予算 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了 評価理由 躯体や設備の老朽化が進んだ施設であるが、安全面を第一に考慮し、補修や修繕の緊急性や必要性を十分検討しつつ、施設の有効活用の観点から継続した維持管理が必要な事業である。					
評価日		平成20年5月21日	記入者職氏名	課長 堀中 雅寛	

⑧二次評価	一次評価を受けた事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業			

◎環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
⑨個別計画における方向性	施策の体系	施策の方向					
	◎次世代育成支援行動計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード		
基本目標							
主要課題							
施策の方向							